

# 施策分析シート

No1

<b>施策名</b>	図書館サービスの充実	<b>施策No</b>	04-03	<b>部課名</b>	教育委員会 南千住図書館
<b>関連部課名</b>					
<b>行政評価事業体系</b>	<b>分野</b>	産業・教育・文化			
	<b>政策</b>	地域に根ざした生涯学習の推進			

**目的** 地域に根ざした生涯学習を推進し、区民の多種多様なニーズに応えるため、図書館の3要素である資料・情報、建物等環境、人的サービスの面から図書館サービスの充実を図る。

	施策の成果とする指標名	指標の推移				指標に関する説明
		平成16年度	平成17年度	平成18年度	目標値(28年度)	
①	利用者登録率(%)	29.6%	29.0%	30.0%	35.0%	個人登録者数÷住基人口
②	個人登録者数(人)	52,490	51,492	53,400	63,000	サービスの充実により登録者数18%増をめざす
③	入館者数(人)	1,123,777	1,171,576	1,240,000	1,300,000	サービスの充実により入館者数10%増をめざす
④	区立図書館における区内小学生の利用者登録率(%)	75.5%	71.2%	72.0%	80.0%	子ども読書活動の事業を展開し、登録率10%増をめざす
⑤	区立図書館における区内中学生の利用者登録率(%)	64.3%	59.3%	62.0%	70.0%	子ども読書活動の事業を展開し、登録率10%増をめざす
⑥	区民一人当り蔵書冊数	4.0冊	3.9冊	4.0冊	4.0冊	蔵書冊数÷住基人口
⑦	区民一人当り総貸出点数	9.4点	9.4点	9.5点	11.0点	個人総貸出点数÷住基人口

**現状と課題**

- 地域館の老朽化、バリアフリー化に未対応、本をゆったりと読むスペースが少ない等、滞在型の魅力ある読書空間を求める声が強い。汐入地域や駅前でのサービスポイントの設置、地域館のリニューアル計画を含めた中央館及び地域館の整備について検討していく必要がある。
- 「子ども読書活動推進計画」に基づき、読み聞かせ、ブックスタート、学校図書館との連携、ひろば館・ふれあい館等と連携した事業を推進している。
- 「これからの図書館調査懇談会」報告で提起された、医療情報サービスやビジネス支援サービス等新たな図書館サービスを具体化していく必要がある。
- 平成17年度に全館祝日開館及び南千住図書館の17時から19時30分まで土曜夜間延長を実施した。
- 図書館のインターネット利用が急増しており、IT化に対応して、インターネットを利用したレファレンスや情報発信の充実を図る必要がある。
- 予約や貸出増を支える図書館資料費が年々減少しており、資料費増が必要である。
- 図書館の資料収集基準について現状に合わせて見直しを行い、さらに、選書やレファレンスの充実が必要である。
- 平成13年度から導入した非常勤体制が平成17年度に完了した。

**今後の方向性**

- 予約図書受取り・貸出を行なうサービスステーションの設置について検討する。
- 地域館のリニューアル計画を策定する。
- 子ども読書推進活動を一層推進し、ひろば館・ふれあい館等との連携により子どもの身近な場所におけるサービスを提供する。
- 区経営支援課と連携し、個人創業者に対するレファレンスや区内地場産業関連資料の収集提供等ビジネス支援サービスを充実させ、医療情報提供サービス等新たなサービスを具体化する。
- 夜間の利用状況や費用対効果を含め、開館時間の夜間延長について検討する。
- メルマガや地域資料データベース等情報発信サービスを充実させる。
- 平成21年度からの図書館コンピュータシステムの更新に向け、エレクトロニクス・ICタグ・ICカード標準システムの活用を含め、機能の充実について今から検討していく。
- 中高生向けサービスを充実させる。
- 職員の選書能力を向上させ、選書の充実を図る。

施策の優先度	優先度についての説明・意見等
A	図書館は、区民の生涯学習の拠点として、一番身近な存在であり、自立した区民の成長と地域の活性化の礎となる公共施設であることから、当該施策の優先度はきわめて高いと考える。

# 施策分析シート

No2

施策を構成する事務事業の優先度					
事務事業名	事務事業No	決算額（千円）		施策推進のための優先度	優先度についての説明・意見等
		平成16年度	平成17年度		
管理費	12-07-01	63,163	58,539	B	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、必要である。
備品整備費	12-07-02	56	34	B	図書館運営のため必要である。
図書購入費	12-07-03	68,385	66,497	B	図書館サービスの基礎である図書や資料の充実を図るため、必要性が高い。
視聴覚費	12-07-04	11,276	10,083	B	図書館サービスの基礎である資料の充実を図るため、必要性が高い。
障害者サービス費	12-07-05	2,244	2,159	B	障害者サービスを充実させるため、必要性が高い。
図書館オンラインシステム	12-07-06	55,802	53,699	B	利用者の利便性向上を図り、先進的なITサービスを提供するため、必要な事業である。
図書館事務費	12-07-07	18,161	17,516	B	区民の学習活動の拠点施設である図書館の環境整備のため、必要である。
図書館非常勤関係費	12-07-08	142,741	164,746	C	図書館サービスを支える非常勤職員の役割は重要である。
図書館サービスの充実	12-07-09	-	2,247	A	開館時間延長等、利用者の利便性向上を図るため、極めて優先度の高い事業である。
図書館に関する調査	12-07-10	-	1,701	D	懇談会は17年度に事業終了。
営繕費（一般分）	12-07-11	6,461	4,699	C	建物の老朽化が進み、施設の維持が必要である。
営繕費（施設改修分）	12-07-12	3,930	2,963	B	建物の老朽化対策、バリアフリー化等改修のため必要である。
子ども読書活動推進計画事業費	12-07-13	-	-	A	子どもの読書離れの改善や国語力の向上のために、極めて優先度の高い事業である。
合 計		229,478	220,137		